

秋風の涼やかなこの頃、皆様方におかれましてはお変わりなくお過ごしのこととお喜び申しあげます。平素は本校教育推進に向け、ご支援ご協力賜りまして誠に有難うございます。さて、保護者の皆様にご協力いただきましたアンケートの結果をお知らせいたします。子どもたちのよりよい成長に向け、教職員一同より一層励んでいく所存です。今後ともご支援ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願ひ申しあげます。

平成26年度 「前期」学校評価・休日参観～アンケート結果より～

参観 保護者アンケート

子どもたちは、いきいきと進んで授業に取り組んでいる。

教師は、学習内容を理解できるように工夫している。

子どもたちのノートやワークシート等は、丁寧に見ている。

分からぬところは分かりやすく最後まで教えてている。

子どもの実態や課題に応じて、一人一人を大事にした学級経営を行っている。

友だちを大切にしようという気持ちや態度を育てるように指導している。

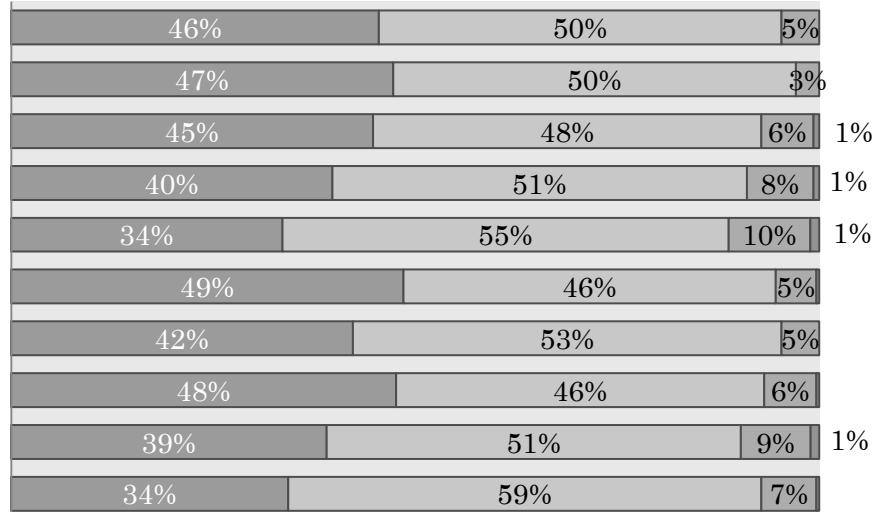
やるべきことは責任をもって最後までやり遂げるように指導している。

子どもの様子をよく見たり、話しかけたりするなど、子どもを理解する努力をしている。

子どものことについて連絡を密にするなど、保護者と連携して指導するようにしている。

学校は、学校だより・ホームページ等で学校の様子を積極的に伝えている。

■そう思う □大体そう思う □あまりそう思わない □そう思わない



確かな学力について

・「場面に応じた言葉づかいで話をしている」の項目について児童はでいている、保護者は昨年度に比べていていると感じています。また、教職員アンケート「人の話をしっかり聞いたり、自分の考えを話したりすることができる」が改善してきています。

このことから、昨年度は、人の話を聞くことや自分の考えを場面に応じた言葉で話すということに課題があると考え、取り組んできました成果が少しずつ実を結び始めているのではないかと考えます。二人学び・グループ学び・みんな学びというように少人数での話し合いから学級全体での話し合いに広げていくといった話し合い活動を授業に取り入れて学習を進めることで、少しずつ話すことに力を得ているようを感じています。今後も、子ども達が「聞く・話す」ということが身に付くように授業を通して行なっていきます。また毎日の学校生活全体で適切な言葉づかいでできるように、教職員で取り組んでいきます。子どもたちが生き生きと話せるように、挨拶の声かけなど、お家でもご協力よろしくお願ひいたします。

・「読書」については児童の意識は昨年も大きくは変化しておらず、約20%の児童があまり本を読んでいない状況です。しかし、保護者・教職員の回答は大きく上がっていました。学級文庫が常設してあること、昨年同様、一人ひとりが机の横に本バックをかけ、すぐに本を読めるようになっていることなど、朝の10分間読書の時間や学習が少し早く終わった時に、読書をする習慣が身に付きつつあるようです。また、今年も引き続き読み聞かせボランティア「じゃんけんほん」の方々が読んで下さる本に聞き入ったり、紹介してもらった本を手に取ったりする姿も見られます。

図書室が明るく、ふれあいサロンにも書架を置き、本を読んだり、調べたりする環境が整ってきています。国語の教科書の巻末に載っている本や学習していることに関連する本についてもコーナーを設けてそろっています。今後、本好きの子ども達が育つように、また、読書の幅が広げられるように、いろいろな分野の本や、100冊読書に挑戦したりしながら、読書の充実に取り組んでいきたいです。

・参観アンケートの「いきいきと進んで授業に取り組んでいる」「学習内容を理解できるように工夫して授業をしている」「勉強がよくわかる」といった学習に関する項目については、どれもそう思う・大体そう思うが大きく占めています。

授業の様子についてそう思う・大体そう思うと答えてもらっている割合は昨年度より少し上がり、そう思うと答えて頂いている保護者の割合が増加しています。これは、授業の質が良くなっていると感じていただいている保護者が増えたためだと思っています。

本校では、本年度国語と体育をとりあげています。主体的に学ぶ子どもの育成を通して思考力・判断力・表現力を育成できるように授業づくりを日々研究しています。国語科では、「読解力の育成」「進んで学ぼうとする態度の育成」「確かに読んだことを豊かに書く授業の展開」について取り組んでおります。研究教科の国語は、すべての教科につながる言語活動の基となります。研究で学んだことを他教科にも生かし、わかる授業・いきいきと進んで取り組める授業にしていきたいと考えております。

また、体育科では、一人一人が自らの学びをみつめ、めあてを持って学習をしたり、問題解決に向けて話し合ったりする活動を大切にし、国語で培った力をより確かなものにする授業を目指し、取り組んでいきたいと考えております。

前期 保護者アンケート

子どもたちは、楽しく学校に行っている。

子どもたちは、場所に応じた言葉づかいで話をしている。

子どもたちは、家庭学習の習慣がついてきている。

子どもたちは、友だちや身近な人に進んで挨拶をしている。

早寝・早起きなどの基本的な生活習慣が身についている。

子どもたちは、学級や学校のきまりを守っている。

子どもたちは、思いやりの心ややさしい心が育っている。

子どもたちは自分やみんなのものを大切にしている。

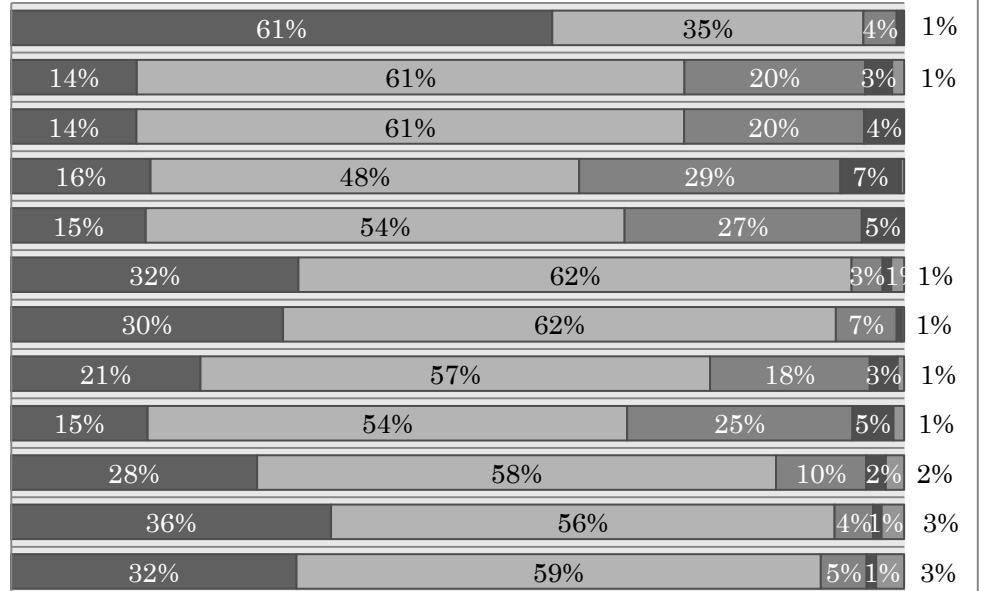
子どもたちは、自分たちの目標を決めてがんばろうとしている。

学校は読書活動に力を入れている。

教職員は、挨拶をするなど保護者に親しみやすい雰囲気で接している。

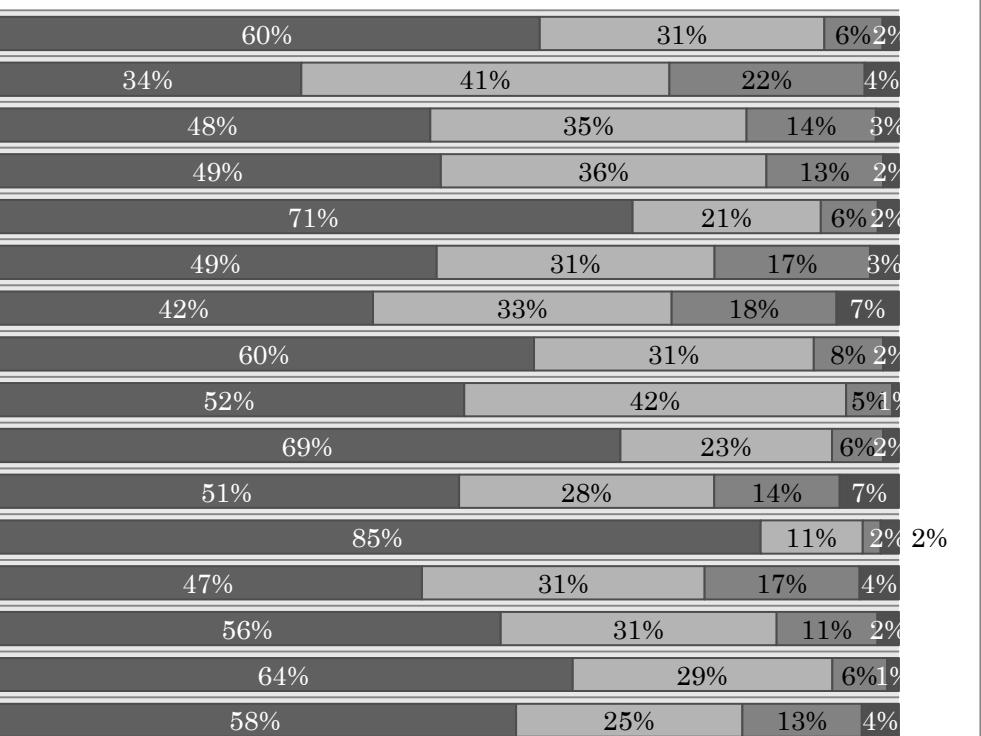
学校は、学校だより・ホームページ等で学校の様子を積極的に伝えている。

■よく出来ている □出来ている □あまり出来ていない □出来ていない □わからない



前期 児童アンケート

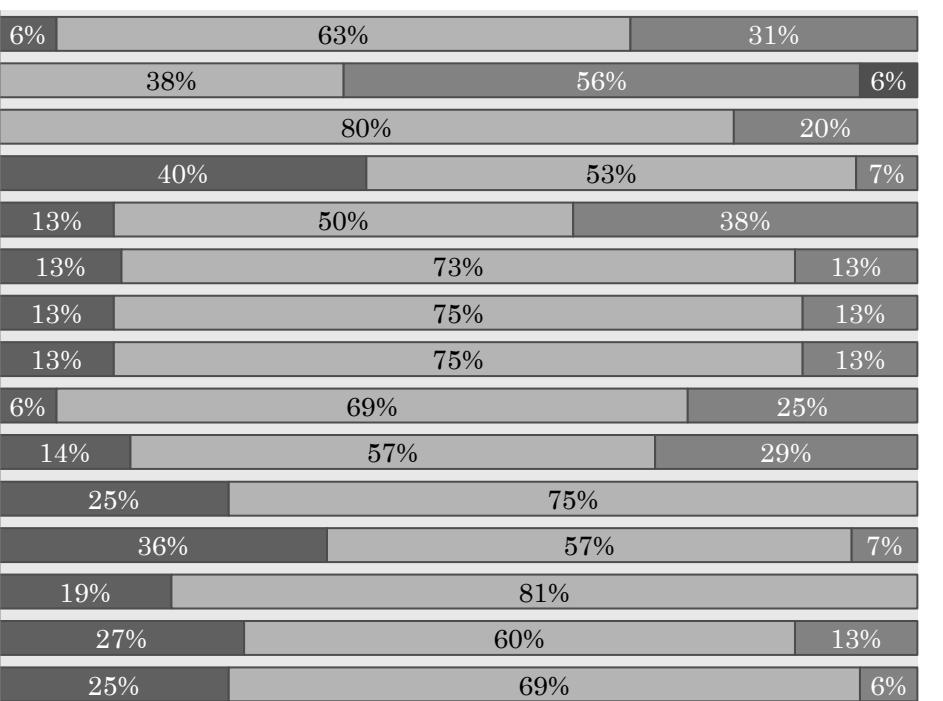
学校に行くのが楽しい。
人の話をしっかり聞いたり、自分の考えを話したりすることができる。
場面に合った言葉づかいで話をすることができる。
勉強がよくわかる。
忘れずに宿題をしている。
友だちや先生・地域の人に進んであいさつをしている。
早寝・早起きなどけんこうに気をつけた生活をしている。
学級や学校のきまりを守っている。
友だちやまわりの人にやさしくしている。
自分やみんなのものを大切にしている。
自分がんばる目標を決めている。
朝食を毎日食べている。
本をよく読んでいる。
先生は困ったときに相談にのってくれたり、解決をしてくれたりする。
係・当番・委員会などの仕事を最後までしっかりやっている。
休み時間に外に出て遊んでいる。



■よく出来ている ■出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない

前期 教職員アンケート

子どもたちは、人の話をしっかり聞いたり、自分の考えを話したりすることができる。
子どもたちは、場面に応じた言葉づかいで話をしている。
子どもたちは、授業で学習したことが理解できている。
子どもたちは、家庭学習(宿題)の習慣が身に付いている。
子どもたちは、友だちや身近な人に進んであいさつをしている。
子どもたちは、早寝・早起きなどの健康に気をつけた生活ができる。
子どもたちは、学級や学校のきまりを守っている。
子どもたちは、友だちや周りの人にやさしくしている。
子どもたちは、自分やみんなのものを大切にしている。
子どもたちは、自分の目標を決めてがんばろうとしている。
子どもたちは、朝食の大切さを理解している。
本が好きな子どもに育っている。
子どもたちが困ったときに相談にのったり、解決したりしている。
係・当番・委員会などの仕事を最後までやり遂げるように指導している。
子どもたちは、休み時間に外に出て遊んでいる。



■よく出来ている ■出来ている ■あまり出来ていない ■出来っていない

・宿題の提出について、子どもも教職員もだいたいできていると感じていますが、保護者の約30%の方々は不十分だと感じておられます。保護者の方々から見て、子どもたちの家の学習への取り組みの様子や集中の度合い、学習時間などの問題を感じておられるようです。今後、ご家庭との連携から、より質の高い家庭学習になるようにしていきたいと考えています。

豊かな心について

・「楽しく学校に行っている」の項目では、昨年度に比べ、あまり楽しくない、楽しくないの割合が一段と減り、とてもそう思うの割合が増えています。今後も一人一人を大切にして、子どもたちの思いを聞きつつ進め、一人でも多くの子どもたちが楽しく学校へ来られるよう努力していきます。

・「友だちや身近な人に挨拶をする」では、保護者も児童も教職員も昨年度より少し高くなりました。友だち同士や担任の先生には進んで挨拶ができるようになってきていますが、本校の職員や地域の方へ広がっていくように今後も取り組んでいきます。あいさつ運動の回数を増やすといった児童会の取組や、班長を中心とした登校班での取組、教職員の積極的な挨拶の取組などすることにより、誰にでも気持ちのよい挨拶ができる子ども達に育てていきたいと思っております。ご家庭でもご協力お願いいたします。

・「困った時に相談にのったり、解決をしたりしている」の結果は、児童87%でした。困った時に先生が相談にのってくれるかどうかわからないように感じている子どももが約1割強に減りました。昨年度より一段と教員に相談しやすくなっているようです。昨年度より始めた「あのねタイム」も定着し、子どもたち一人一人と話すことが、信頼関係を少しでも築ける助けとなっているように感じられます。今後も教職員は、一人ひとりの子ども達に目をやり、信頼関係を築けるように努力していきます。

・「保護者と連携して指導するようにしている」この項目が90%でした。昨年度より15%改善しており、保護者の方々との連携がよりいっそうとれるようになってきているようです。今後ますます連携を密にし、一人一人を大切にした学級経営を目指して努力していきます。

健やかな体について

・保護者も児童も教職員もできていないと感じているのは、「基本的な生活習慣」でした。また、「朝食を食べている」の項目の児童アンケート結果は高い結果でした。ここから、朝ご飯は食べて登校しているけれど、早寝・早起きの基本的な生活習慣がついていないことがわかります。

睡眠は、脳や身体の成長にとって重要です。学校では長期の休みが終わると生活リズム表を書き自分の生活習慣を振り返ったり、早寝・早起きの大切さを学習したりしています。最近ではゲームをしていて途中でやめられず、夜遅くまでしてしまうことがあります。

ご家庭でも子ども達と話し合って約束を決めたり、早寝・早起きをするように声をかけたりしながら、子ども達が健康に気を付けた生活ができるようにご協力お願いします。

